

中間市地域公共交通網形成計画推進事業の取組について

1. 中間市地域公共交通網形成計画（平成 28 年 3 月策定）の基本方針

（1）公共交通の課題

- ①中間市西部の公共交通空白地区への対策
- ②中間市東部の公共交通不便地への対策検討
- ③西鉄バス中間線をはじめとする路線バスの利用促進
- ④公共交通ネットワークとしての利便性向上による利用促進

（2）今後の方策

- ①公共交通不便地の解消
- ②中間市の公共交通ネットワークの強化
- ③中間市の交通まちづくりに対する市民の意識向上

上記の4つの課題への対策として、3つの方策に取り組むため、下記の基本方針を設定。

【交通網形成計画基本方針】

体系的な交通ネットワークを整備するとともに、利便性の向上、交通環境の整備により周辺地域との交流及び都市内の円滑な移動を支えるネットワークの構築

2. 中間市地域公共交通網形成計画の数値目標（計画策定時から目標年度（H32年度））

（1）公共交通不便地の解消

- ・公共交通不便地A（公共交通空白地）の割合 32.4% → 12.9%
- ・公共交通不便地B（高低差による不便地）に対する公共交通サービスの確立として
 - ①コミュニティバスの1便あたりの利用者数 0.91人/便 → 2.0人/便
 - ②コミュニティバス利用者1人への市の負担金額 1,495円 → 569円
 - ③中間南校区地区住民（65歳以上）のお出かけ回数の増加
 - 3.3回/週 → 3.4回/週
 - ④公共交通利用割合の増加 20% → 22%

（2）中間市の公共交通ネットワークの強化

- ・過去1年間における公共交通の乗り継ぎ利用をしていない割合 65.3% → 60.0%

（3）中間市の交通まちづくりに対する市民の意識向上

- ・底井野校区地区住民（65歳以上）のお出かけ回数の増加
 - 2.6回/週 → 2.8回/週
- ・路線バスの利用者数 500人/日 → 500人/日

3. 取組内容

【平成28年度の取組】

(1) 公共交通不便地の解消	①南校区アンケート調査及びモニタリング調査 ※アンケート調査実施期間 平成28年10月3日～19日実施
(2) 交通まちづくりに対する 市民の意識向上	①公共交通マップの作成と全戸配布 ※配布時期 平成29年3月配布

【平成29年度の取組】

(1) 公共交通不便地の解消	①底井野校区アンケート調査及びモニタリング調査
	②中間南校区住民座談会の実施
(2) 交通まちづくりに対する 市民の意識向上	①路線バス沿線住民へのモビリティ・マネジメントの実施
	②高齢者運転免許証自主返納支援事業の実施

(1) ー ① 底井野校区アンケート調査及びモニタリング調査

運行開始1年となる底井野校区コミュニティバス「なかよし号」について、乗降データや住民へのアンケート調査によって、利用実態や住民ニーズを把握し、交通網形成計画に掲げた目標値の達成状況の検証や今後の運行計画の改善に向けた課題整理を行う。

▼底井野校区アンケート調査の概要

- ・調査対象 1,500 世帯（底井野校区全世帯）
- ・調査時期 9月下旬から10月頃
- ・調査項目

【共通】

年齢、性別、運転免許の有無、最寄りの公共交通機関までの所要時間、自家用車の有無、底井野校区コミュニティバスの利用の有無、認知度、コミュニティバスに対する要望、意見など

【コミュニティバスを利用したことがある人】

利用頻度、利用目的、満足度（運行時間・便数・ルート・運賃）、不満点 など

【コミュニティバスを利用したことがない人】

利用しない理由、利用するための条件 など

▼底井野校区モニタリングの概要

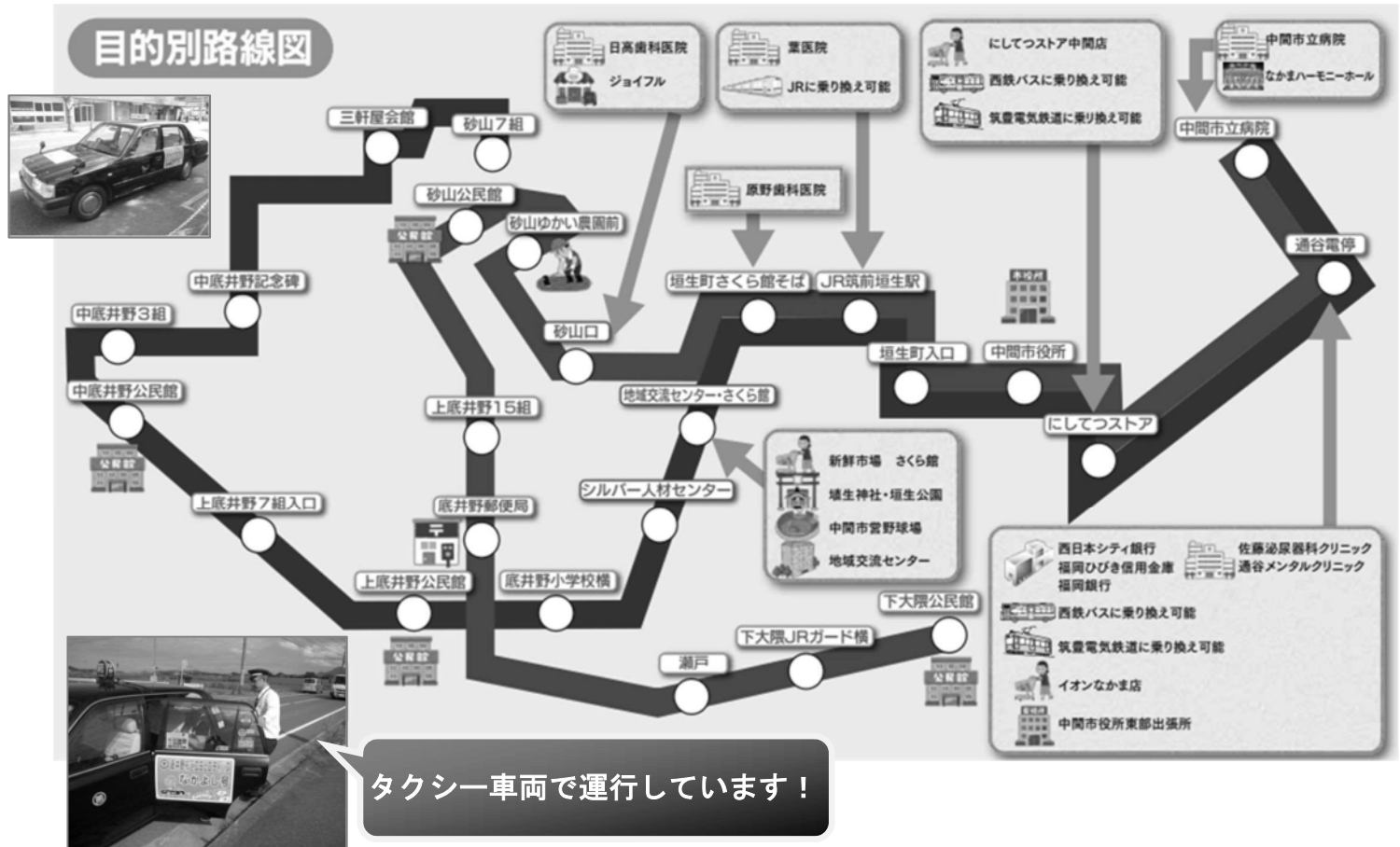
- ・主な評価指標

評価指標	分析データ	評価の視点
コミュニティバスの1便あたりの利用者数	乗降データ 既往データ	交通網形成計画の目標値と比較してどうかなど。
コミュニティバス利用者1人への市の負担金額		
底井野校区地区住民（65歳以上）のお出かけ回数の増加	アンケート調査 結果	
公共交通利用割合の増加		
底井野校区コミュニティバスに対する満足度		運行時間、便数、ルート、運賃等は地域住民のニーズを満たしているか。
底井野校区コミュニティバスの認知度		地域住民に認知されているか。高齢者に対する認知度はどうか。

- ・交通網形成計画の目標値の達成状況の検証
- ・底井野校区コミュニティバスに対する住民ニーズを把握、課題等を整理し、今後の利用促進に向けた方向性を検討

コミュニティバス(なかよし号)に乗ってみませんか!?

底井野校区では、昨年10月より、コミュニティバス(なかよし号)の運行を開始しました。底井野校区では、これまで公共交通が運行しておりませんでした。お年寄りや体の不自由な方などに限らず、自動車の運転が困難な方や自動車をお持ちでない方など、誰でも気軽に利用できる移動手段として活用しています。



- 運行日 : 1 番線 垣生・下大隈系統【月曜日・水曜日】
2 番線 砂山・底井野系統【火曜日・金曜日】
- 運賃 : 定額 200 円 (中学生以上)、100 円 (障がい者、小学生)、無料 (小学生未満)

なかよし号の利用者は、まだまだ少ない状況です。そのため、利用者1人あたりに対して、市が、900円程、負担している状況です。

<H28年10月~H29年3月>

○のべ利用者数

⇒496人

○1便あたり利用者数

⇒1.34人

○利用者1人あたりの市の負担額

⇒914円

【中間市の目標】

・1便あたり利用者数
⇒2人

地域の皆さんの利用しなければ、今後、なかよし号の運行を続けていくことも難しくなります。地域のため、みなさんやみなさんの家族の将来のために少しずつでも利用して、どうすればより快適で使いやすいなかよし号になるか、一緒に考え、みんなで育てていきましょう!

底井野校区コミュニティバス「なかよし号」の
利用実態に関するアンケート調査票

I. お住まいの方の状況についてお聞きします。

問1 お住まいのご住所をお教えてください。(該当する番号に○をご記入ください。)

1. 垣生町 2. 砂山 3. 下大隈 4. 上底井野 5. 中底井野

問2 最寄りの公共交通機関（筑前垣生駅・バス停）までの所要時間は、徒歩何分程度ですか。
(該当する番号に○をご記入ください。)

1. すぐ近く(1分以内) 2. 2～5分 3. 6～10分 4. 11～15分
5. 16～20分 6. 21～30分 7. 31分以上

問3 ご自宅に、自家用車は何台ありますか。(該当する番号に○をご記入ください。)

1. 1台 2. 2台 3. 3台以上 4. 0台

問4 記入者及び同居の家族の外出の状況
(該当する項目にご記入、及び該当する番号に○をご記入ください。)

※1週間で最も外出が多い外出先のことについてお答えください。

※同居の家族が4名以上いる場合は、主に外出される方を4名選んでお答えください。

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
4-1 年齢	歳	歳	歳	歳	歳
4-2 性別	1. 男性 2. 女性	1. 男性 2. 女性	1. 男性 2. 女性	1. 男性 2. 女性	1. 男性 2. 女性
4-3 運転免許	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし
4-4 主な外出目的 (1つ選択)	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他
4-5 外出頻度 (1つ選択)	1. 週5回以上 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 月に1～2回 5. ほとんど外出しない	1. 週5回以上 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 月に1～2回 5. ほとんど外出しない	1. 週5回以上 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 月に1～2回 5. ほとんど外出しない	1. 週5回以上 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 月に1～2回 5. ほとんど外出しない	1. 週5回以上 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 月に1～2回 5. ほとんど外出しない
4-6 交通手段 (1つ選択)	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 自家用車 (自分で運転) 5. 自家用車 (家族等の送迎) 6. バス 7. 筑豊電鉄 8. JR 9. タクシー	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 自家用車 (自分で運転) 5. 自家用車 (家族等の送迎) 6. バス 7. 筑豊電鉄 8. JR 9. タクシー	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 自家用車 (自分で運転) 5. 自家用車 (家族等の送迎) 6. バス 7. 筑豊電鉄 8. JR 9. タクシー	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 自家用車 (自分で運転) 5. 自家用車 (家族等の送迎) 6. バス 7. 筑豊電鉄 8. JR 9. タクシー	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 自家用車 (自分で運転) 5. 自家用車 (家族等の送迎) 6. バス 7. 筑豊電鉄 8. JR 9. タクシー

問5 【4-4 主な外出目的】で選んだ外出先について、市内、市外の該当する番号に○をつけ、外出先の住所（場所）をご記入ください。

※市内を選んだ方は、下段に住所と施設名を記入ください。（例）住所：中間一丁目 場所：中間市役所

※市外を選んだ方は、下段に市町村名を記入ください。（例）北九州市八幡西区

	記入者	同居家族 1	同居家族 2	同居家族 3	同居家族 4
外出先の場所	1. 市内 2. 市外	1. 市内 2. 市外	1. 市内 2. 市外	1. 市内 2. 市外	1. 市内 2. 市外
	住所 ()	住所 ()	住所 ()	住所 ()	住所 ()
	具体的な場所を記入 ()	具体的な場所を記入 ()	具体的な場所を記入 ()	具体的な場所を記入 ()	具体的な場所を記入 ()
	市町村名 ()	市町村名 ()	市町村名 ()	市町村名 ()	市町村名 ()

Ⅱ. なかよし号についてお聞きします。

問6 なかよし号の利用状況について、該当する番号に○をつけてください。

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
6-1 なかよし号が運行していること をご存じですか (1つ選択)	1. 知ってる 2. 知らない	1. 知ってる 2. 知らない	1. 知ってる 2. 知らない	1. 知ってる 2. 知らない	1. 知ってる 2. 知らない
6-2 なかよし号の利用状況 (1つ選択)	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない

『1. 利用したことがある』と回答された方は 以下の問7へお進みください。

『2. 利用したことがない』と回答された方は 5ページの問9へお進みください。

【なかよし号をご利用されたことがある方にお聞きします。】

問7 なかよし号の利用目的や利用頻度、運行サービスの満足度について、該当する番号に○をつけてください。

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
7-1 利用目的 (複数回答可)	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他
7-2 利用頻度 (1つ選択)	1. 週に3日以上 2. 週に2日程度 3. 週に1日程度 4. 月に数回以下	1. 週に3日以上 2. 週に2日程度 3. 週に1日程度 4. 月に数回以下	1. 週に3日以上 2. 週に2日程度 3. 週に1日程度 4. 月に数回以下	1. 週に3日以上 2. 週に2日程度 3. 週に1日程度 4. 月に数回以下	1. 週に3日以上 2. 週に2日程度 3. 週に1日程度 4. 月に数回以下

⇒4ページに続きます。

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
7-3 運行時間 (1つ選択)	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満
7-4 運行便数・運行 頻度 (1つ選択)	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満
7-5 運行ルート (1つ選択)	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満
7-6 運賃 (1つ選択)	1. 高い 2. ちょうどよい 3. 安い	1. 高い 2. ちょうどよい 3. 安い	1. 高い 2. ちょうどよい 3. 安い	1. 高い 2. ちょうどよい 3. 安い	1. 高い 2. ちょうどよい 3. 安い
7-7 他の交通手段と の乗り継ぎ (1つ選択)	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満
7-8 バス停の距離や 間隔 (1つ選択)	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満
7-9 車内の乗り心地 (1つ選択)	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満
7-10 予約方法 (1つ選択)	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満
7-11 なかよし号の利 用によるお出か け回数の変化 (1つ選択)	1. お出かけ回数が 増えた 2. 変わらない 3. お出かけ回数が 減った	1. お出かけ回数が 増えた 2. 変わらない 3. お出かけ回数が 減った	1. お出かけ回数が 増えた 2. 変わらない 3. お出かけ回数が 減った	1. お出かけ回数が 増えた 2. 変わらない 3. お出かけ回数が 減った	1. お出かけ回数が 増えた 2. 変わらない 3. お出かけ回数が 減った

【なかよし号をご利用されたことがある方にお聞きします。】

問8 なかよし号の運行に対して要望したい改善点はなんですか。以下の選択肢から選んで番号に○をつけてください。

	記入者	同居家族 1	同居家族 2	同居家族 3	同居家族 4
改善点 (複数回答可)	1・2・3・4・5 6・7・8・9・10	1・2・3・4・5 6・7・8・9・10	1・2・3・4・5 6・7・8・9・10	1・2・3・4・5 6・7・8・9・10	1・2・3・4・5 6・7・8・9・10

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 運行便数を増やしてほしい | 6. 時刻表通りに運行してほしい |
| 2. 運行日を増やしてほしい | 7. 運賃を下げしてほしい |
| 3. バス停を増やしてほしい | 8. 予約方法を簡単にしてほしい |
| 4. 運行ルートを変更してほしい | 9. 特にない |
| 5. 鉄道や路線バスと乗り継ぎしやすくしてほしい | 10. その他 |

【なかよし号をご利用されたことがある方、ない方もお答えください。】

問9 なかよし号の不便な点や利用しない理由を以下の選択肢から選んで番号に○をつけてください。

	記入者	同居家族 1	同居家族 2	同居家族 3	同居家族 4
利用しない理由 (複数回答可)	1・2・3・4・5 6・7・8・9・10 11・12・13・14 15・16・17	1・2・3・4・5 6・7・8・9・10 11・12・13・14 15・16・17	1・2・3・4・5 6・7・8・9・10 11・12・13・14 15・16・17	1・2・3・4・5 6・7・8・9・10 11・12・13・14 15・16・17	1・2・3・4・5 6・7・8・9・10 11・12・13・14 15・16・17

- | | |
|--|------------------------|
| 1. 行くときに利用したい時間帯と合わない | 9. 電車や路線バスとの乗り継ぎが悪い |
| 2. 帰るときに利用したい時間帯と合わない | 10. 目的地へ行くまで時間がかかる |
| 3. 利用したい曜日に運行していない | 11. 予約が面倒 |
| 4. 行きたい目的地に行くのに利用できない | 12. 予約方法がわからない |
| 5. 目的地に行くまでに時間がかかる | 13. 急な外出時に利用できない |
| 6. 運賃が高い | 14. タクシー車両で相乗りに抵抗がある |
| 7. 運行していることを知らない
(運行ルートや運行時刻がわからない) | 15. 他の交通手段があり利用する必要がある |
| 8. 自宅からバス停まで遠い | 16. その他 |
| | 17. 特にない |

問10 なかよし号の市の財政負担額について、利用者 1 人あたりに換算すると、市が利用者 1 人 1 回の利用に対し、約900円を負担していることをどう思いますか。該当する番号に○をつけてください。

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
市の財政負担額について (1つ選択)	1. 負担が多い 2. ちょうど良い 3. 負担が少ない	1. 負担が多い 2. ちょうど良い 3. 負担が少ない	1. 負担が多い 2. ちょうど良い 3. 負担が少ない	1. 負担が多い 2. ちょうど良い 3. 負担が少ない	1. 負担が多い 2. ちょうど良い 3. 負担が少ない

問 11 なかよし号の運行費用は、運行を開始した昨年 10 月からの半年間で中間市が約 40 万円の財政負担をしており、今後も運行を維持していくためには、市の財政負担を軽減させる必要があります。今後もなかよし号の運行を維持していくためには、どのような方法が望ましいとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
市の財政負担について (1つ選択)	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6

1. 地域住民が積極的に利用して、維持していくべき
2. 運賃の値上げ等、利用者の負担で維持していくべき
3. 市が他のサービスを削っても維持していくべき
4. サービスの質(運行日数、運行便数等)を下げ、維持していくべき
5. わからない 6. その他

問 12 なかよし号の今後の利用について、あなたはどのように思われますか。該当する番号に○をつけてください。

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
今後のなかよし号の利用について(1つ選択)	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6

1. 現在も利用している
2. これからは積極的に利用したいと思う
3. 今後、可能な範囲で利用したいと思う
4. 今後も利用しないと思う
5. わからない 6. その他

問 13 なかよし号について、体験して感じたことや改善点など具体的にご記入ください。
(運行日数、便数、時刻、運賃、予約方法など) また、その他ご要望、ご意見等ございましたら、お聞かせください。

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

(1)－② 中間南校区住民座談会の実施

平成 28 年度に取り組んだ南校区アンケート調査及びモニタリング調査の結果を基に、中間南校区住民を対象とした住民座談会を実施する。

住民座談会では、アンケート調査では把握できなかった住民ニーズの把握を行い、「フレンドリー号」の利用促進策の検討及び改善に向けた検討を行う。

▼住民座談会実施概要

- ・対象地区 中間南校区 12自治会

※地元自治会等と相談し、地区ごとに3～4グループに分けて順次開催予定。

No.	地区名（自治会名）
1	太賀一区
2	太賀二区
3	太賀三区
4	鍋山
5	朝霧
6	通谷一丁目
7	通谷二区
8	通谷三区
9	通谷四区
10	桜台
11	中央町
12	星ヶ丘

- ・実施時期 9月から12月頃

・実施内容

- ①南校区アンケート調査結果の報告
- ②モニタリング調査結果の報告（フレンドリー号の運行状況の報告）
- ③イオンなかま店への停留所新設の報告
- ④フレンドリー号の今後の利用促進策、改善に向けた意見交換など（住民ニーズの把握）

▼南校区アンケート調査結果（平成 28 年調査時）の概要【※調査結果抜粋】

【フレンドリー号の利用状況】

- 利用状況については、利用したことがあるのは 3%程度で、約 9 割が利用したことがないと回答している。
- 利用したことがあると答えた回答者の約 6 割が 75 歳以上の後期高齢者となり、65 歳以上の高齢者で利用したことがあると答えた回答者の 9 割程を占めている。

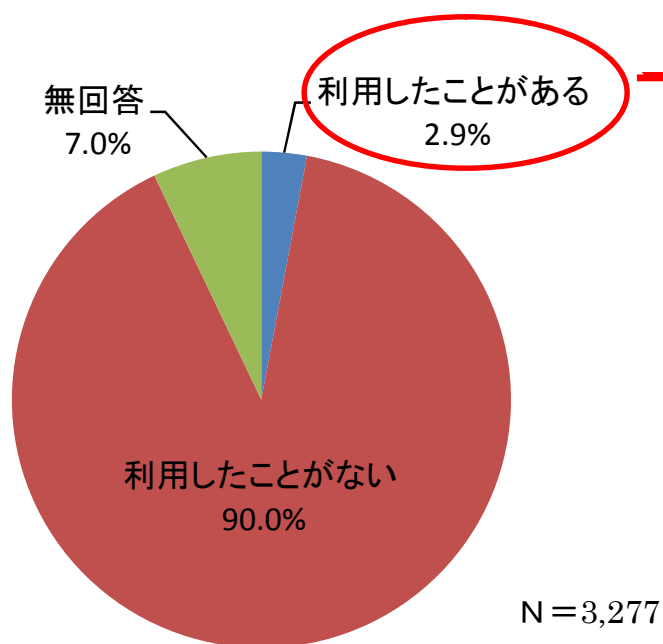


図 フレンドリー号の利用状況

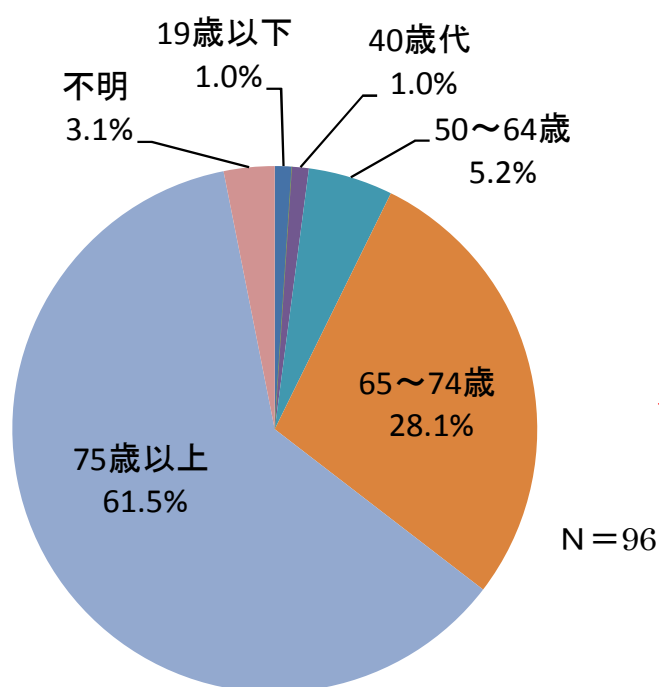


図 フレンドリー号を利用したことがあると答えた回答者の年齢構成

【フレンドリー号の利用目的】

○利用目的としては、通院が最も多く、約 6 割を占め、買い物が約 5 割となっている。

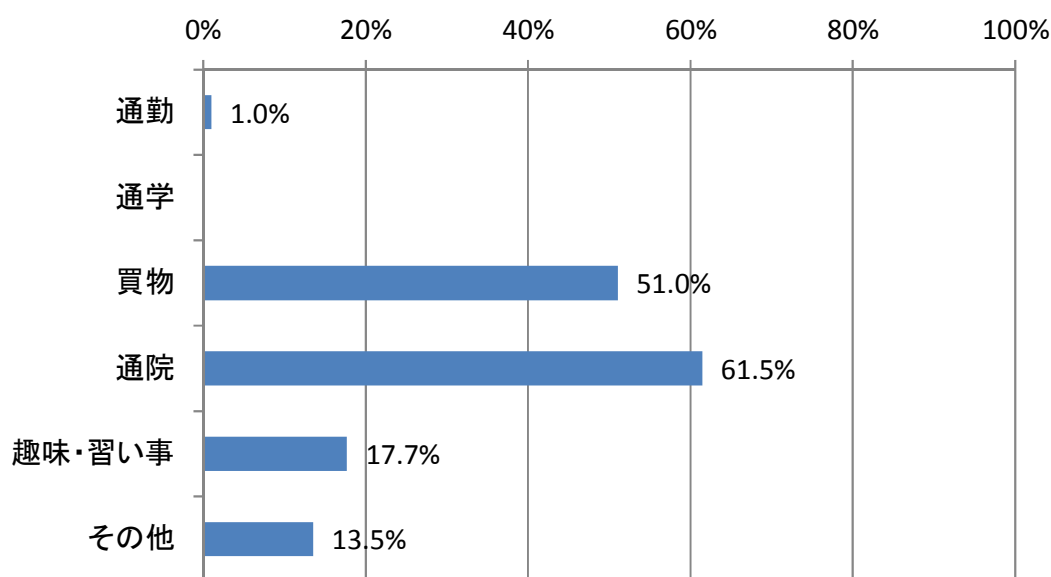


図 フレンドリー号の利用目的

N = 96

①フレンドリー号の運行サービスの満足度

○「運行便数」、「運行ルート」、「運行時間」については、利用者の 3～4 割程度が不満と回答しており、満足の割合よりも不満の方が高い結果となっている。

○「車内の乗り心地」、「運賃」、「バス停の距離や間隔」については、過半数が満足という結果となっている。

○「他の交通手段との乗り継ぎ」については、不満は 2 割程度であるが、満足している利用者が、1 割にも満たない結果となっている。

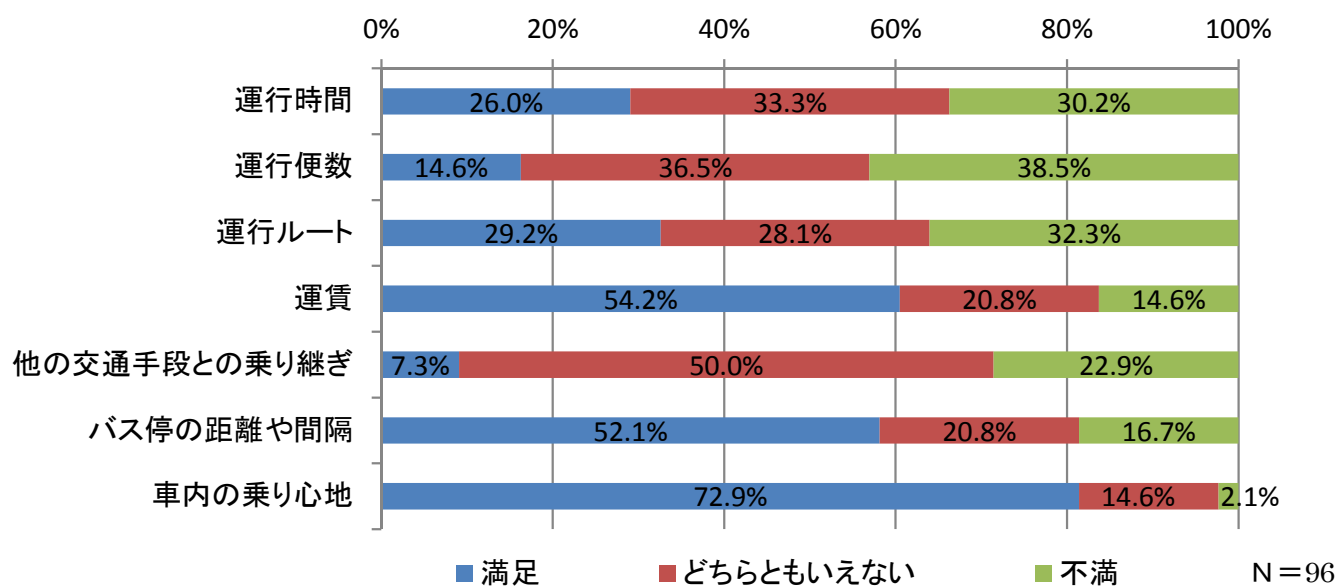


図 フレンドリー号の運行サービスの満足度

N = 96

【フレンドリー号の運行に対する要望】

○フレンドリー号利用者からの要望としては、「運行便数を増やしてほしい」という意見が5割程度あり、「運行日を増やしてほしい」が4割程度となった。

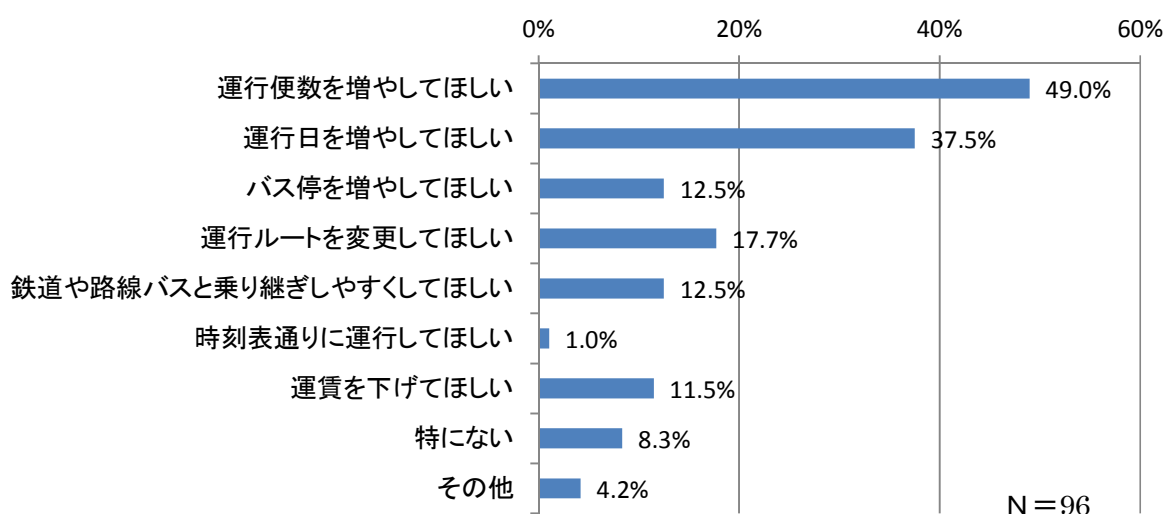


図 フレンドリー号の運行に対する要望

【フレンドリー号の不便な点、利用しない理由】

○全体の約4割が、「他の交通手段があり利用する必要がない」と回答している。

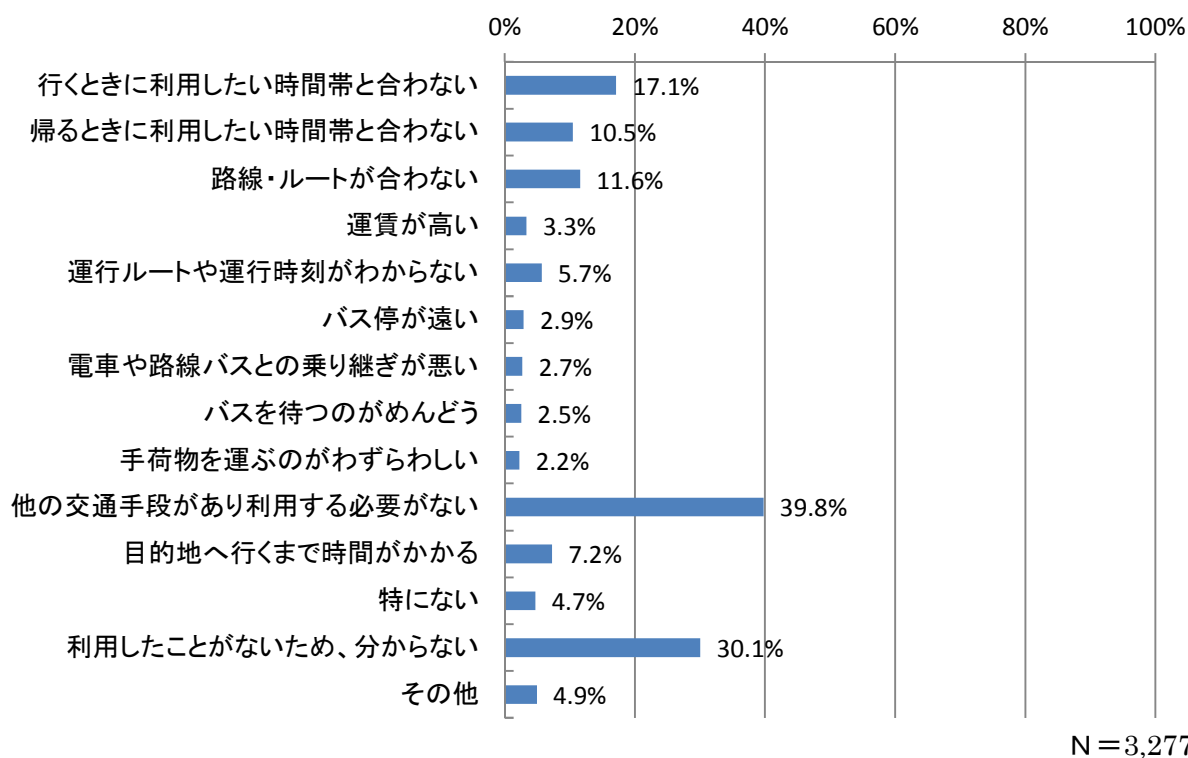


図 フレンドリー号の不便な点、利用しない理由

(2)－① 路線バス沿線住民へのモビリティ・マネジメントの実施

平成 28 年度に取り組んだ公共交通マップの配布による周知効果をさらに高めるため、路線バス沿線住民へ時刻表などの情報冊子の提供やアンケート調査を実施し、公共交通への利用を促す「モビリティ・マネジメント」を実施する。

※モビリティ・マネジメントとは、一人ひとりのモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向に自発的に変更することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策。（「モビリティ・マネジメントの手引き」土木学会）

①実施計画書の作成

交通網形成計画作成時の調査結果を踏まえ、モビリティ・マネジメントに関する考え方や対象エリア、実施方法を整理する。

（対象エリア設定のための視点）

- ・路線バス利用者数の状況（利用者が少ない区間を対象など）
- ・利用できる公共交通機関の状況（鉄道駅から離れたエリアを対象など）
- ・バス停との高低差の状況（高低差により沿線住民の利用が妨げられているエリアを対象など）
- ・高齢者数の状況（高齢者数が多いエリアなど）

②コミュニケーションツールの作成

公共交通の情報を盛り込んだ動機づけ情報冊子を作成し、アンケート調査票と一緒に配布する。

（コミュニケーションツールの概要）

主な項目	概要
公共交通の取組み	中間市における公共交通の取組みを説明 ※高齢者運転免許証自主返納支援事業に関する情報の周知など
公共交通を利用することのメリット	交通事故のリスク、車利用に要する費用などの点より公共交通を利用することのメリット
公共交通のお得な情報	西鉄バスのお得な割引制度など
路線バスの運行情報	西鉄バスの運行ルート、時刻表など
マイ時刻表	自分が普段利用できるバスの乗降バス停やバスの時刻等、情報を絞って掲載できる時刻表の作成など

③コミュニケーションアンケートの作成

公共交通の利用に向けた行動変容を促すアンケート調査を実施する。

(コミュニケーションアンケートの概要)

主な項目	概要
回答者の属性	性別、年代、居住地など
現在の日常移動の目的・移動手段	現状の日常移動における目的・移動手段・自家用車の利用頻度、公共交通の利用状況など
公共交通の利用	最寄りのバス停や公共交通を利用して移動できる目的地までの移動方法、自家用車の代替として想定される公共交通など
公共交通に関する情報や動機づけ情報	コミュニケーションツールに記載した公共交通に関する情報、動機づけ情報についての興味の有無や使い勝手についてなど
公共交通の取組みや現状に対する評価	市の取組みや市の財政負担額等に対する意見、感想
公共交通に対する意識の変化・今後の利用意向	各種情報の提供による公共交通に対する意識の変化を把握。(以前よりも関心・興味が高まったが、公共交通を利用してみようと思ったかなど) 今後の公共交通の利用意向を把握(利用してみようと思うか、どのような状況での利用が考えられるかなど)

④効果・課題の検証

モビリティ・マネジメントの実施効果・課題等の検証、今後の取組み等を検討する。

(2) - ② 高齢者運転免許証自主返納支援事業の実施

高齢者が加害者となる事故の防止と公共交通の利用促進を目的として、70歳以上の高齢者で運転免許証を自主返納した方を対象に交通事業者が発行するICカードやタクシー回数券、コミュニティバス回数券を交付する高齢者運転免許証自主返納支援事業を実施する。

▼高齢者運転免許証自主返納支援事業の概要

- ・事業開始日 平成29年10月1日(予定)
- ・補助対象者及び申請期間

(補助対象者)

平成29年4月1日以降にすべての種類の運転免許証を自主返納した、返納時に満70歳以上の方 ※免許証の有効期限切れによる失効は対象外

(申請期間)

運転免許証を自主返納した日から1年以内

・補助金額

交通事業者のICカード等やタクシー回数券、コミュニティバス回数券を1人1回いずれか1つを5,000円分交付する。

4 平成29年度実施スケジュール

項目	年月	平成 29 年							平成 30 年		
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
コミュニティバスに関するモニタリング調査											
①底井野校区アンケート調査票作成											
②底井野校区アンケート調査実施											
③調査票・モニタリング分析											
南校区コミュニティバス実態把握											
①座談会											
路線バス沿線住民に対するモビリティマネジメント											
①実施計画書作成											
②コミュニケーションツールの作成											
③コミュニケーションアンケート調査・分析											
④効果・課題の検証、報告書作成											
高齢者の免許返納施策											
①免許証自主返納支援事業											
交通会議開催	◆	◎	◆	□			□	◆		◆	

◆：交通会議 ◎：プロポーザル審査委員会 □：幹事会

・幹事会（全2回）と交通会議（第3回と第4回）との役割分担

【幹事会】 ①底井野校区アンケート調査票案の検討 ②モビリティ・マネジメントの情報ツールやアンケート調査票案の検討 ③住民座談会の実施方法案の検討 ④本年度作成する運行マップや利用ガイドの検討 など

【交通会議】 ①底井野校区アンケート調査及びモニタリング調査結果の検証、②モビリティ・マネジメント調査結果の検証、③住民座談会の実施結果の検証 など